※学校に既存の様式があれば、そちらを活用してもらってもかまいません。

他の学校行事とは異なり、働くことに関する活動は別様式を設定。

就業体験・インターンシップについて**（働くことに関して）**

記入日　　　年　　　月　　　日

【事　前】

どうしてその職場に行くのか、その理由を自分自身の言葉で整理することが重要である。

|  |  |
| --- | --- |
| 「働くこと」についての今の考え（「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか） | |
| 受入先 | 体験先選定の理由 |
| 就業体験・インターンシップを通じて、どんなことを得たいのか | |
| 就業体験・インターンシップを通してなりたい自分のイメージ（どう成長したいのか） | |

記入日　　　年　　　月　　　日

【事　後】

|  |
| --- |
| 就業体験・インターンシップを通して学んだこと（気づいたこと、よかったこと、反省したことなど） |
| 受入先から自分の将来に向けてどのようなアドバイスをもらったか |
| 「働くこと」についての今の考え（体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか）  事前・事後に「働くこと」そのものに関する同じ問いに向き合ってもらうことで、生徒自身が自己の変容に気づいてほしい。 |
| 今、考えている自分の進路（○○に進学・○○業に就職・迷っている）とその理由  「迷っている」のは、体験が揺さぶりをかけている証拠である。何をどう迷っているのか、心の迷いを整理することが大切である。  辛口のコメントでも、指摘は本人にとっては早急に改善が必要な点であり、貴重なものとなる。 |

学校の外の方からの目線で、良いことだけでなく、改善すべき点についてもコメントをもらうことで、生徒自身が今後の自己の在り方を考えるきっかけにしてほしい。

|  |
| --- |
| 受入先からのアドバイス |
| 受入先からのアドバイス・先生との対話から考えたこと |